

■院内褥瘡対策委員会

1. 2020年度の目標及び方針

はじめに

本委員会は、超高齢化社会において問題となっている「褥瘡」の院内発生減少、早期治癒を目的に活動している。現在、日本においては全ての入院患者に対し褥瘡対策を実施する事が入院基本料の算定条件であり、国際的にも医療の質評価項目 (quality indicator) として褥瘡発生率が求められているなど、病院の質向上だけではなく財務においても重要な役割を持つ委員会である。

1. 方針

褥瘡の予防と早期治療に向けた取り組みをおこなう。
入院基本料算定要件を満たすための活動をおこなう。

2. 目標

1) 入院基本料算定要件を満たすための活動を実施する

入院基本料算定要件クリアに向けた記録・システムの整備と運営

2) 深さd2以上の褥瘡推定発生率 1.5%未満の達成

※ADL 維持向上等体制加算の施設基準 d2以上の褥瘡推定発生率 2.5%未満であること

3) 病院職員の褥瘡に対する知識・技術向上に向けた勉強会の実施

2. 2020年度評価

1) 入院基本料算定要件を満たすための活動

皮膚科、形成外科医師による褥瘡診療計画書の確認作業を実施した。

皮膚・排泄ケア認定看護師による褥瘡発生率の集計作業を実施した。

2) 褥瘡推定発生率

d2度以上の褥瘡推定発生率:2018年度 1.60%

2019年度 2.72%

2020年度 2.34% 目標達成

3) 知識・技術向上に向けた勉強会の実施

コロナウイルス感染対策にて中止

3. 年間活動内容

1) 委員会開催

毎月第2月曜日 部長会終了後実施

内容:各委員からの活動報告、褥瘡発生率のモニター、褥瘡患者カルテカンファレンスの実施

2) 褥瘡回診の実施

褥瘡ハイリスク患者ケア加算の算定要件クリアに向けての準備として2014年度より褥瘡回診を実施している。

3) 病院職員への褥瘡知識の啓蒙活動

4. 実績

委員会の開催:10回開催(議事録)

創傷被覆材等の採用検討

院内褥瘡対策に関する検討

カルテカンファレンスの実施と問題事例については病棟へのフィードバックをおこなった

多職種褥瘡回診およびカンファレンス 5回

5. 学術関係 (褥瘡関連発表)

なし

文責:看護部 佐藤理子